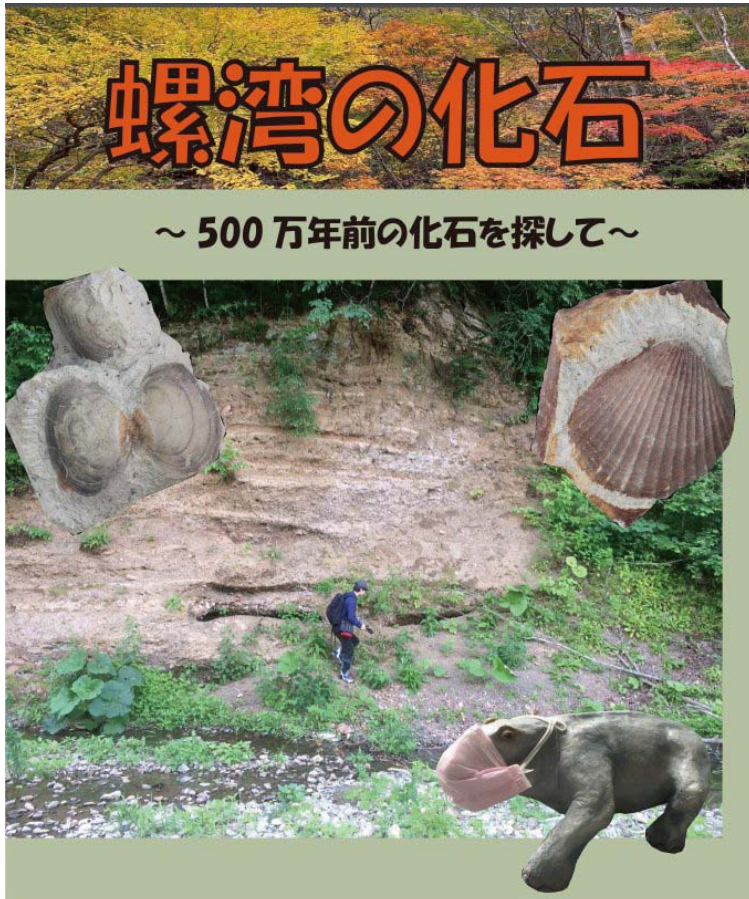


『螺湾の化石』できました!



化石のクリーニングの説明。
クリーニングしているのは横山さんです。



「化石図鑑」の部分には貝化石の特徴、見分けかた、サンプルの写真が載っています。これはウバトリガイのページです。

北海道教育大学釧路校の横山和樹さん（当時4年生）が足寄町螺湾から発掘される貝化石を研究し、「螺湾の化石 ～500万年前の化石を探して～」を製作しました（監修 同校松原尚志教授）。「螺湾の化石」は横山さんが昨年度（令和2年度）の卒業研究の一環として製作したもので、螺湾の貝化石の見分けかたや、化石の見つけかた、クリーニング方法、地質や当時の環境までまとめているものです。博物館では今後の化石教室などの発掘イベントで活用させていただきます。横山さん、ありがとうございました。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよる

指定管理者 NPO法人 あしよるの化石と自然

No. 156

2021年 4月21日発行

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

（年4回発行）

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp （博物館だよりpdf版あり）

あしょろの化石たち 図鑑に登場

博物館に展示されている骨格が「大量に」図鑑に登場しました。もちろんアショロアは大活躍です。

『学研の図鑑ライブー鉱物・岩石・化石』（学研プラス、2020年12月発行）の化石部門の導入にはアショロア（水に潜る姿勢）が採用され、展示中の産状模型とともに化石の説明に使われています。

クジラのページには、アショロカズハヒゲクジラ（歯のあるヒゲクジラ）が当館に展示中の歩くクジラ＝パキケタス骨格などとともに登場します。デスモチルス（歌登標本）も当館オリジナルの泳ぐ格好で紹介されました。ほかにも何点か……。

鉱物部門にはオンネトー湯の滝の写真もあります。



化石部門扉のアショロア



デスモチルス歌登標本と釧路市産白歯

化石部門のいろんな時代のページや鉱物部門には、数多くの化石や鉱物が説明されていますので、ミニ発掘で掘り出したものを調べるのにも便利な内容です。

値段は2376円（税込）で、博物館のショップで販売しています。もちろん本屋さんやネット書店にもあります。

あしよろ化石教室

2021年度は2回の化石教室を予定しています。ご家族で、お友だちと、お一人でも、自然のなかで、大地を感じましょう。

*各回20名程度（先着順）の参加人数とさせていただきます。また、「足寄町 螺湾・モラワン」の回は川の中を2時間程度歩くため、小学校高学年程度以上の参加とさせていただきます。各回、状況により中止の可能性があります。



参加方法

1. 化石教室の申込用紙を手に入れる（博物館受付、または博物館ウェブサイトから）
2. 必要事項を記入して、申込み締め切りまでに博物館に届ける（来館、郵便、Eメール、ファクシミリなど）
3. 集合場所、時刻、持ち物などの案内を博物館から送付
4. 当日集合・実施

6月27日（日） 足寄町 螺湾・モラワン

申込締め切り
6月13日

足寄の動物化石たちのふるさと**モラワン**で、モラワン川を歩きながらアショロアの発掘現場などを観察します。

螺湾らわんでは、古十勝湾の地層をわって貝の化石を探します。貝殻はないのですが、500万年前とは思えないきれいな模様がある、不思議な化石です。

7月11日（日） 白糠町右股

申込締め切り
6月27日

足寄町モラワンから東に山を越えると**右股みぎまた**。3000万年前の海の地層から巻き貝や二枚貝を掘ります。

おうちでミニ発掘 プレミアム 2021GW

GWの「おうちでミニ発掘 プレミアム」にはちょっとめずらしい「母岩付き三葉虫」が新登場します。また「おもしろセット」などが再登場します。



拡大したもの



さくらセット

さくらメノウとさくら石のセットです。



三葉虫

なかなか手に入らない三葉虫の化石です。母岩から掘り出すような仕上がり。

「石はみがくと玉になる」地質の日 協賛イベント

1876年5月10日、日本で初めての地質図を刊行したことにちなんで制定された「地質の日」。博物館では今年も石をみがきます。

※各回、一グループ（最大6名まで）の事前予約制となっています。また、参加にあたっては入館が必要です。詳しくは下記をごらんください。

日程：5月8日（土）、9日（日）

時間：10：30～

13：00～

14：30～

人数：各回同一グループ6名まで（保護者含む）

年齢：小学校高学年以上

予約：事前予約が必要

申込み：来館時、または電話での申込み

みがく石：十勝石、ラピスラズリ、テレビ石など

費用：500円～（種類によって異なります）



アショロアの骨格模様入り十勝石



ペンダント型の十勝石とラピスラズリ

来館者の皆さまへのお願い

博物館は今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を実施しながらの運営となります。来館者の皆さまにはご不便をおかけしますが、以下の対策に関してのご協力をお願いいたします。

駐車場で

- 駐車台数制限への協力（国道側を制限中です）

入館の際に

- マスクの着用
- 手指の消毒
- 距離をとって並ぶ
- 入館者名簿の記入

展示室で

- 距離をとっての観覧

化石工房（作業展示室）で

- ミニ発掘の一人一個の制限（テーブルも減らしています）

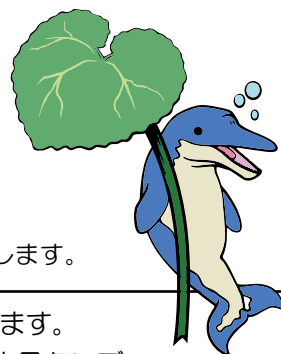
足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）

○休 館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）
※海の日から8月末までは、全日開館します。

○料 金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。

※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



紙面に書ききれませんでしたが、ミニ発掘 クリスタルの種類が入れ替わります。
ジャスパー（緑）や黄銅鉱などにかわって、ラピスラズリやサンストーン、水晶タンブルなどが登場します。お楽しみに！